

Jiaino Tobira

季刊誌「じあいのとびら」

発行/公益財団法人 慈愛会 今村病院分院

平成23年9月発行

●ご自由にお持ち帰りください。

季刊

じあいの とびら

第8号

The Eighth number



号

題字 作平瀬戸めぐみ

各部署の紹介
病理診断科

TOPICS

インターナショナル・チャイニーズ・ニューイヤー・ナイトパレードに参加して

医事課 中村 千尋

じあいのとびらコラム

「東京ウロウロ考」血液浄化部主任部長 常磐 光弘

2011.Summer

今村病院分院
各部署の
紹介
病理診断科

病理診断科は平成20年4月に慈愛会今村病院分院の病
院施設内に新設され、院内各診療科と円滑な連携のもとに
迅速かつ適正な仕事を遂行しています。今年で4年目を迎
えます。当初は、病理医1名、技師2名のスタッフで、分院各
診療科から依頼を受けた生検および切除検体の病理診断業
務ならびに病理解剖を行いました。漸次、年度ごとに病理設
備・安全管理および業務内容を充実させ、平成22年度には慈
愛会今村病院(本院)の生検および切除検体の病理組織診断
を引き受けるに至り、病理診断科のスタッフを病理医2名、
技師4名に増員し、現在は本院ならびに分院の内科系およ
び外科系の各診療科からの依頼を受け、病理組織診断、病理
解剖、外科症例検討会を主体に病理の仕事を行っています。



病理診断科を
支える
スタッフ

病理診断科

生検組織診断

例えば胃・大腸カメラ検査や子宮検診の際に病
変が見つかった場合、その病変部から採取した組
織片から作製した顕微鏡標本を観察(鏡検し)、
病変の良性悪性などを判断し、その診断決定をす
る仕事を行っています。

切除検体組織診断

例えば外科的摘出や内視鏡切除などを受けた
臓器などから数多の顕微鏡標本を作製し、標本
を鏡検して病変の本態を判定し、診断を行い、更
に病変の完全切除の判定や治療効果、病変のリン
パ節への転移の有無などについても判断する仕事
を行っています。



術中迅速診断

手術中に提出された主要病変部や所属リンパ
節(センチネルリンパ節)などの組織から即座に凍結
切片を作製して鏡検し、病変の診断名や病変の転
移の有無、切除範囲の決定などを執刀医に報告
する仕事で、迅速に判定報告を行うものです。



病理外来

患者様やご家族の方が病理診断結果について説
明を希望されるならば、病変については病理診断の
内容など顕微鏡写真をしながら直接説明を行う
こともできます。

この病理説明を希望される場合は、診察を受
けた担当医の許可が必要です。

病理診断のしくみ

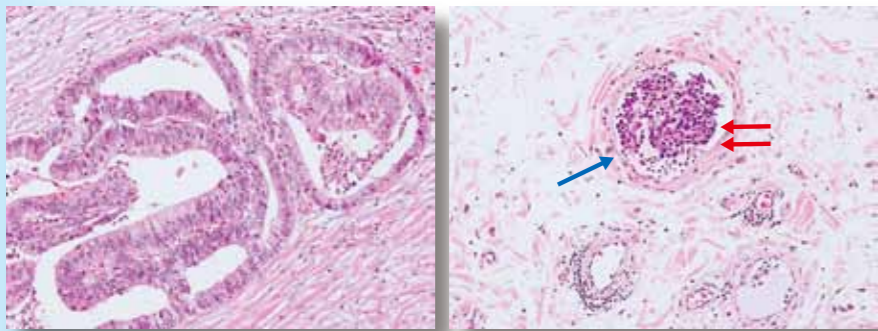
「病理」についてご存知の方もいらっしゃると思いますが、
分院の病理診断科では、診療部門の各科から病変に関する
検査の依頼を受けて、病理組織診断や術中迅速診断という
病気の最終診断の仕事をしています。さらに、得られた多種
多様な病理診断データをもとにして、ヒトの体に発生する
様々な病気の本態や原因などについて検証を行っています。
分院の専門医療分野のひとつである血液の病変あるいは
腎臓の病変の病理診断については、特に他医療機関や施設の
病理専門医あるいは専門検査研究機関と連携して、より詳
細な検査を実施しています。



病理解剖(剖検)ならびに 臨床病理検討会(CPPC)

もう一つの重要な仕事は、病気で亡くなられた
方のご遺体をご遺族のご承諾のもとに解剖して、
死因、病変の本態、合併症の有無、治療結果など
について詳しく検索する病理解剖(剖検)も行っ
ており、病理組織検査による病気の究明に平行し
て、今後の医学研究や医療発展への貢献を担っ
ています。更に内科医研修、病理医研修および初期
研修医の指導に携わる教育病院として、その質向
上のために診療科と協働して剖検ならびに
CPPCを行っています。剖検およびCPPCは年間
10症例以上の実施を目標としています。

顕微鏡ではこんな像をみえています



胃癌の組織像

血管(↑)に癌細胞(↑↑)が侵入しています
癌が血流によって肝臓に転移することになります



表紙の絵について 題：陽光に輝く南岳 日本画 150号(220cm x 165cm)



鹿児島市立病院院長の上津原甲一先生
から『平成27年に新築移転予定の鹿児
島市立病院の新館にあなたの日本画
を飾りたい』との申し出を受け、感動の
中で一年余りかけて絵を完成させた。完成
の報告をしたところ、『あと5年は待ち長
いので、今の病院の玄関正面に飾って、
新築移転の日を待ちましょう!』と言っ
ていただき、2010年8月に搬入し、除幕
式の式典が行われた。
(左の写真は除幕式式典の時のもの)
財団法人慈愛会 会長 納 光弘

病理診断科実績

平成22年度

検査内訳	分院	本院	合計
術中迅速診断	8	44	52
組織診断(永久標本)	1614	2058	3672
免疫染色	356	221	577
特殊染色	197	267	464
電子顕微鏡検査	18	0	18



「Back」OK」「NO」、後は香港政府の方や神輿参加者で鹿兒島在住の中国の方が通訳してくれるのが頼りでした。少しでも英語を勉強していけばよかったと大いに後悔。

リハールと言えども観客の方々に興味を持って頂いたように、カメラを構えた方が多く、嬉しく思いました。

パレード当日。パレードが夜のため、屋過ぎに会場へ向かい神輿や衣装の準備をし、しばし待機。控室のテントの側では他の国の参加者の方が演奏や踊りの最終チェックをされていて、パレード前から大盛り上がりでした。

パレードが始まり、いよいよ私たちの番が回ってきました。頭が神輿に上がり、神輿を揚げて待機します。緊張して待っていると、前の団体のパフォーマンスが終わり、曲が変わり、私たちの紹介が始まりました。

パレードのスタッフの合図で頭の掛け声が掛かり、神輿が進み始めました。

パレードは会場パフォーマンスをした後、香港の街中



▲香港でのパレードの様子

を練り歩きます。

会場から街へ出ると歩道いっぱいには観客がいて、神輿の掛け声に合わせて「ソイヤ！ソイヤ！」と声を掛けてくれます。香港の学生達も初めての経験にも関わらず、担ぎ手の一員としてしっかり神輿をあげてくれていました。

パレードの際、私は担ぎ手ではなく、神輿の進行方向の指標となる「纏振り(まとい)」をしており、自由に動ける分、観客との距離も近く、観客へ「ソイヤ！」と掛け声を掛けながら進んでいくと、沿道の日本人の観光客の方から「頑張ってるねー」と声を掛けていただきました。その瞬間、本当に嬉しくて香港へ神輿を持ってこることが出来た喜び、たくさんの方の支援・応援に感謝、いろいろな想いから涙が溢れてきました。

パレードは無事成功し、地元のTVでは私たちの神輿が一番人気だったと放送されたようです。

パレード翌日は、香港のデパートで鹿兒島フェアを開催しているとのこと、こちらでも神輿をあげさせて頂き、地元新聞紙にも取り上げていただき、大好評でした。

今回このパレードに参加したことで、「一期一会」「感謝



「チームワーク」と言葉の意味を改めて実感しました。

私たちと神輿を担いでくれた香港の学生達や、私たちをいろいろな方面から支援してくれた方々との出会いとその方々への感謝。学生達と初めて会い、名前も知らない言葉もあまり通じない……でも心をついに、神輿をあげられる力。一人では難しいことも周りの協力を得ることによって、実現することが出来る。

そのことを実感できただけでも、このパレードに参加してよかったと思います。

本来ならば、外来医事である私は月初めの時期に休むことは中々出来ませんが、忙しい中快諾してくれた、外来医事の皆さんには本当に感謝しています。ありがとうございました。

最後になりましたが、私たち六番神輿葵連は随時担ぎ手さんを募集しております。

前述にもありますが、どなたでも参加出来ます。但し女性限定!!

私たちと神輿を担いでみたいと思われた方は、外来医事中村までお問い合わせください。

インターナショナル・チャイニーズ・ニューイヤー・ナイトパレードに参加して



私は今年の2月2日から2月5日まで香港で開催された「2011年インターナショナル・チャイニーズ・ニューイヤーパレード」に、鹿兒島おきおんさあ女神輿の一員として参加してきました。

参加のきっかけは、毎年夏に鹿兒島市で行われている「おきおんさあ」の六番神輿葵連(あおいれん)に神輿の担ぎ手として参加していることでした。

おきおんさあとはいわゆる祇園祭のことですが、鹿兒島では親しみを込めて「おきおんさあ」と呼ばれています。

おきおんさあは悪疫退散、商売繁盛、無病息災などを祈願して、古く江戸時代から行われている伝統的な祭りです。高見馬場、朝日通間が歩行者天国となり、約2キロ、総勢2千人のご神幸行列が練り歩きます。そのご神幸行列の最後を飾るのが、大人神輿6基、女神輿3基、ソイヤ！ソイヤ！と威勢のいい掛け声をあげながら、神輿は進んでいきます。私が参加している「六番神輿葵連」はその中でも唯一の市民神輿で、毎年、年齢・職業はもろもろ国籍も問うことなく、たくさんの方々が参加されています。

その葵連が鹿兒島と香港の交流が30周年を迎えたこと



▲神輿の進行方向の指標となる「纏(まとい)」(写真中央が筆者)

を機に、香港より「インターナショナル・チャイニーズ・ニューイヤーパレード」への招聘を受けました。

香港の旧正月の元旦(今年は2月3日)に合わせて行われるこのパレードは、世界的にも有名で、香港ではもちろん最も人気のあるイベントだそうです。「花車」と呼ばれる豪華な山車や、私たちと同様に各国から招聘されたパフォーマンスによるショーやパレードは、自分が参加者であるということをおぼろげに思い出さず、目を引くものばかりでした。

他にも旧正月中は花車や花火大会などのイベントも開催され、香港は大賑わいでした。

ですが、参加するにあたって、いくつか問題があり、その中でも担ぎ手の人数確保というのは大きな問題でした。当然のことながら、神輿はそう軽いものではなく、特に今回は夜のパレードであったため、ライトアップ用にバッテリーも乗せたので500kg近くあったようです。その重量をパレード中は担ぎ手を変えつつ、休憩を取りながら進んでいきます。

そのためには100人近くの担ぎ手が必要になってきますが、市民神輿の葵連だけでは確保出来ません。そこ



▲2010年「おきおんさあ」の様子

で、他の女神輿2基にも御協力頂き、鹿兒島おきおんさあ女神輿が発足しました。また、香港の鹿兒島県人会の方の御協力を頂いて、香港の大学の学生にも参加して頂けることになりました。

さて、2月2日の午後、いよいよ香港へ出発です。

海外は初めてではないにしろ、興奮とパレード参加への緊張が入り混じりながらの搭乗でした。今回は、鹿兒島からのチャーター便で、4時間ほどで香港へ到着します。

香港と日本は時差が1時間。気温は3月上旬の鹿兒島とあまり変わらないとのことでしたが、滞在中には半袖でちょうどいいと思うほどの暑い日もありました。

街の中は高層ビル・高層マンションが立ち並んでいますが、その合間を「トラム」と呼ばれる二階建ての路面電車が走っており、鹿兒島市に住んでいる私は親近感を感じることができました。

香港到着後、香港の学生との夕食会が行われ、その後パレード会場でリハールとなりました。香港では英語と中国語が主に使われていましたが、残念ながら、語学が苦手な私は指示が良く分からず、「Go」と「Stop」、

「東京ウロウロ考」

血液浄化部主任部長
常盤 光弘



私は東京方面へ学会、研究会での出張があると夕方以降時間があれば東京の下町をうろろ(UROR)だから?)するのを楽しみにしています。数年前に東京を訪れた際に、久しぶりの東京ということもあり前衛的な東京名所である六本木ヒルズや東京ミッドタウンをうろろしたことがあります。その時の、異常に人の密度の高い区域での目の回るような喧騒と、一方まったく人気のない休日の巨大な地下通路や高層オフィスビルの空虚感に「なんだ!この町は、やはりとても田舎もんが楽しめるような町ではないな」と感じたのを記憶しています。東京とは、やはり若者を中心とした物欲を満たしてくれる町、第一線のサラリーマンを中心とした生き馬の目を抜くビジネスの町、歌舞伎町を代表とするネオンの連なる大歓楽街を擁する町、ということを再確認した気持ちになりました。

そうこうして二年ほどが経ち、ある衛星放送で「吉田類の酒場放浪記」という番組を見る機会がありました。この番組は酒飲みには興味があるが、吉田類氏(イラストレーター、俳人、酒場ライター)が東京の下町にある古い居酒屋を中心にその町のちよつとしたほっとできる場所をレポートして巡るというものです。(もちろん酒場が中心ですがこれをきつかけに私の東京という町に対する考え方がだんだん変化してきました。これまで東京を遠く離れた田舎から眺め、メディアからの情報のままに考えていた「東京」は例えば新宿、渋谷、六本木、汐留、お台場などにあるいわゆる高層巨大ビル群、超高層ホテル、ショッピング・アミューズメントエリアなどに限られたものでした。しかしこれらは東京の面積からするとごく一部に過ぎず、観光客をはじめ東京近郊の若者たちが大挙して出没する町のみをいわゆる「東京」として考えていた私に気づきました。東京が他の都市と大きく違うところはJRや地下鉄がほとんどの町と町を結合していること、移動の手段に通常は自家用車が必要としないことでしょう。東京は自動車文化が発展する前に水運文化、鉄道文化が発展し大量の人と物資の移動手段として主に鉄道が利用されてきたために鉄道(地下鉄)の駅を中心に商店街が囲みその徒歩周囲圏内に住宅街が存在しているようです。ただし最近の東京でも巨大な駅、例えば新宿、六本木、渋谷、品川などではこの構造が変化し駅の直近(あるいは駅そのもの)が巨大なビジネス・ショッピングタウンとなっているところが多くなってきているのかも知れません。

これら巨大駅に比較して東京都内でも小さめの駅ではどこに駅があるのかさえよくわからないところもあります。このような小さめの駅、私が訪れたところがある中では門前仲町、森下、月島、神保町、淡路町などは駅の近くに商店街や個人経営の小さな飲食店街がこじんまりとまとまり、駅を利用して帰宅する通勤客の足を引き留めています。このような町の古くからある居酒屋に入つて一杯やるのがとても心安らぐ時間です。ただ、残念なことにはこのような居酒屋は土、日、祝日は休みというところが多く、サラリーマンが帰宅途中に一杯やるのには問題ないのですが、私のようなよそ者が店を訪れるのには大変不便があります。店が休みで一杯やれないときにはその町の中心となる寺社仏閣を訪れることもあります。富岡八幡宮と深川不動の門前にあるその名も門前仲町や湯島天神のある上野駅、湯島駅近辺(不忍池もすぐ近く)などは飲まずとも近辺を散歩しているだけでも大変魅力的な町です。話がとりとめもなくなつてしまいましたが、これからも機会があればこのような東京のいわゆる下町を散策してみたいと考えています。ただ、今回の東北、関東の大震災の影響が心配です。「吉田類の酒場放浪記」に出てくる居酒屋は年々閉店していくのが現状です。日本全体が自粛ムードの中なんとか生き残つていてくれよという思いでいっぱいです。震災の後の東京の状況はよくわかりませんがまた機会があれば是非ウロウロしてみたいと考えています。下町の佇まいがいつまでも残っていますように。

人間ドックでがんの早期発見を!!

日本の死亡原因第1位はがんです。早期に発見すれば治るがんもあります。がんの早期発見とがんの予防を目指しましょう。

以下のことに当てはまる方はいませんか?

- ストレスが多い。
- 強いお酒をよく飲む。
- たばこを吸っている、または、吸っていたことがある。
- 肉をたくさん食べ、野菜・果物はあまり食べない。
- 身内にがんになった人がいる。
- しばらく健診を受けていない。
- 熱い飲食物が好きだ
- 最近、やせてきた。

1項目でも該当する方は、年1回は健診を受けて、将来の自分や・家族のために健康管理をしましょう。

人間ドック専用ご予約・お問い合わせ電話

Tel 099-285-3916

メールアドレス:bunindock@jiaikai.jp

- ・月～金曜日/10:00～17:00
- ・土曜日/9:00～12:00
(祝祭日を除く)





Information

今村病院分院からのお知らせ

診察日一覧表

		月	火	水	木	金	土
総合内科	午前	○	○	○	○	○	○
	午後	○	○	○	○	○	×
神経内科	午前	○	○	○	○	○	第2・4 は診療
脳神経外科	午前	○	○	手術日	○	○	第2・4 は診療
画像診断科	午前	○	×	○	×	○	×
腎臓内科	午前	○	○	○	○	○	○
血液内科	午前	○	○	○	○	○	○ (再診のみ)
消化器内科	午前	○	○	○	○	○	○
糖尿病内科	午前	○	○	○	○	○	○
麻酔科	午前	○	○	○	○ (再診のみ)	×	○
循環器内科	午前	○	○	○	○	○	×
リハビリ科	午前	○	○	○	○	○	×
耳鼻科	午前	×	○	×	×	×	○
皮膚科	午前	○	○	○	○	○	○
眼科	午前	○	手術日	○	○	○	○
泌尿器科	午前	○	○	×	○	○	○ (再診のみ)
整形外科	午前	○	○	○	○	○	○
	夕診	○	×	○	×	○	×
透析センター	午前	○	○	○	○	○	○
	夜間	○	×	○	×	○	×
人間ドック	午前	○	○	○	○	○	○

受付時間

平日/午前8:30~11:30
 午後2:00~5:10
 土曜日/午前8:30~11:30
 ○精神外科夕診 16:00~18:00

診療時間

平日/午前8:30~12:30
 午後2:00~5:30
 土曜日/午前8:30~12:30
 (但し、救急科は24時間診療しています。)
 ○整形夕診 16:00~19:00

休診日

日曜日、祝祭日、盆休み(8月14・15日)
 年末・年始(12月30日~1月3日)
 (但し、救急科は365日診療しています。)

専門外来を受診希望の場合

救急科を除く専門外来は、予約制となっております。受診を希望の場合は事前にお電話にて予約をお願いいたします。
 【ご予約受付時間】
 14:00~17:00
 【ご予約電話番号】
 099-251-2221 (代表)



母が子を慈しみ育てる心、
 愛を持って病める人の苦しみを除く。
 この慈しみ愛する心
 その素朴で純粋な気持ちが慈愛会の
 基本理念です。

基本理念

1. 医療を通じた地域社会への貢献
2. 良心的な高度医療の提供
3. 患者さまの権利・主体性の尊重
4. 快適な医療環境の提供

駐車場のご案内



交通アクセス

- BUS**
- 鴨池ニュータウン 中央バス停下車、徒歩2分
 - 県庁前バス停下車、徒歩5分
 鹿児島中央駅より約15分、
 天文館より約15分



編集後記

今年度は、震災やらで中々原稿も集まらず、もしや・・・このまま廃刊かと心配しましたが、救う神がたくさんおりました。ありがとうございました。
 今回は、職員が鹿児島県代表として、台湾まで踊りに行ってきました。その模様を二つ返事で書いて頂きました。中々の盛り上がりですが台湾の観衆だったようです。



今村病院分院

〒890-0064 鹿児島市鴨池新町11-23
 ☎099-251-2221 ☎099-250-6181
 ホームページ http://imamura-bunin.com/